



Innovation for the Rotary club ロータリーに新風を 2012年8月のロータリーレポートは 1ドル=80円

パストガバナーからの手紙

「ロンドンオリンピックと津田梅子」 パストガバナー 炭谷 亮一

8月13日にロンドンオリンピックは閉幕した。日本女性の活躍が印象に残った大会であった。まさに「大和なでしこ」ここにありと、世界中にその存在をアピールしていた。ところで日本の歴史を振り返って見れば、ある意味女性がヒーローであり、日本を支えて来たのではと考えている。

古来より「女王卑弥呼」、約1000年前に珠玉の名作「源氏物語」を書いた「紫式部」、鎌倉幕府を支えた「北条政子」そして明治の英語教育、女子教育に尽力し、津田塾大学の基礎を築いた「津田梅子」いずれも政治・文化で輝いた歴史に残る「英傑」「英知」である。

ここでは「津田梅子」を考察してみよう。

1871年「岩倉使節団」は1年9ヶ月の予定で米欧12カ国の歴訪に向け航出した。使節団の陣容は大久保利通、木戸孝充、伊藤博文等の政府首脳、中堅、若手官僚その数200余名で、成立した明治政府の中樞の半数が外遊すると言う破天荒なもので、この中に14才の少女2名、11才の少女、8才の少女、6才の少女(津田梅子)計5名の少女が含まれていた。

この少女達はアメリカに長期滞在(約10年位)して英語はもとよりアメリカ文化アメリカ思想アメリカの風俗習慣を会得し、明治新政府の近代化に役立たせ様にとの試みであった。

政府首脳は、アメリカで英語をマスターし、アメリカの生活にスムーズに慣れるには、年少者が良いと考えたのであろう。実に慧眼であった。

年長の14才の少女二人はアメリカの生活にうまくなじめず、半ば鬱状態となり一年後に帰国している。

使節団と別れた少女達は首都ワシントンでアメリカ生活の第1歩をのし、年少の3人の残された少女達は「ザ・トリオ」を組んで助けあい、励まし合った、日本語を忘れないように三人だけの時に日本語で話した。やはり最年少の津田梅子は最も早く英語で考える子になった。そして彼

クラブ例会予定		2012-2013年度	
8/23	金沢心臓血管センター CEO	名村	正伸様
8/30	ピアノ演奏	竹田	理琴乃様
9/6	ガバナー補佐訪問		
9/13	浅田 正文様		
9/20	中尾哲雄ガバナー公式訪問		

2012～2013

(役員) 会長：北山吉明 エクト：野城 勲 副会長：宮永満祐美 幹事：川きみよ 副幹事：上杉輝子

直前会長 会計：西村邦雄

(理事) クラブ管理運営委員長：村田祐一 副：相良光貞 (親睦：金沂秀 プログラム：若狭豊

SAA：上杉輝子 ニコニコ：井口千夏 友好・クラブ細則：魏賢任)

奉仕プロジェクト委員長：竹田敬一郎 副：後出博敏 (職業：土田初子 社会新世代：武藤清寿

国際：宮永満祐美 ラオスプロジェクト：岩倉舟伊智)

会員組織委員長：二木秀樹 副：江守巧 会員増強修練：金沂秀

ロータリー財団委員長：藤間勘菊 副：東海林也令子 (ロータリー財団・米山：藤間勘菊 年次寄付：北山吉明)

広報委員会委員長：吉田昭生 副：江守道子 (広報：谷伊津子 ロータリー情報：木場紀子

会報：石丸幹夫) 常任理事：石丸幹夫 ★太字：理事役員

長期姉妹クラブ担当 南光州：金 石丸 岩倉 江守巧 村田 東京世田谷中央：炭谷 岩倉 石丸 木村幸生 藤間

京都北東：炭谷 杵屋 水野 高崎：石丸 村田 藤間 宮永

例会場 ホテル日航金沢 5F 〒920-0853 金沢市本町 2-15-1 T076-234-11111 例会日時 木曜日 19：00

事務局 ライブ1ビル 2F 〒920-0852 金沢市此花町 3-2 T262-2211 F262-2241 (事務局) 阿原美和

E-mail khrc@quartz.ocn.ne.jp ホームページ URL http://www17.ocn.ne.jp/~hrc/

事務局執務時間 月火水金 9：00～15：00 木 9：00～12：00、17：30～20：00 休憩時間 12：00～13：00

休日 (土日祝日) 幹事 川きみよ 090/9766/6666 副幹事 上杉輝子 090

女達はアメリカの娘として成長し11年後に帰国した。岩倉使節団の4年前の1867年に梅子の父「津田仙」は福沢諭吉らと共に渡米し英語を学び帰国すると新潟で英語教授兼通訳となった、更には築地ホテルの理事に就任した。「子女の米国留学」と言う政府の計画に呼応した津田仙は、当初長女8才の琴子を送り出すつもりであったが、琴子が離日をいやがった為に2才年下の梅子を応募させた。

父親はようやく物心つくつかつかないの6才の我が娘に、この留学の重大さをこんこんと咬んでふくめる様に幾度も言い聞かせたはずである。おそらく梅子はほとんど理解出来ず、ただ父親が真剣に時には目に涙をためて話す姿にむしろ圧倒され、ただただお前は「武士の娘であることを忘れずに行動せよ」そして「アメリカでしっかり勉強し帰国後は日本の為につくせ」とこの二つの言葉のみが6才の梅子の脳裏に焼き付いたのではと私は考えている。いかにお国の為とはいえ、6才の少女をアメリカに長期留学に行かせた親も親だし、アメリカに行った子ども子だと思ふ、私はこの原稿を書きながら涙が止まらなかった。そして明治人のもつ「進取の気風」「気概(ガッツ)」に感服せざるを得ない。

ああ何と、偉大なる明治人よ!!



例会便り

663回

ホテル日航金沢5F

2012 8.9 (木) 19:00

出席率 18/35 51.43%

7月修正出席率 70.00%

点 鐘

SONG 『それでこそロータリー』

2. 四つのテスト

3. 北山吉明会長 挨拶:

福島放射能汚染地区の話です。

福島県のアドバイザーの学者たちは、この程度の汚染では人体に影響は無い。安全だと繰り返しました。

それを信じたじいちゃんやばあちゃんが、自分の畑で作った野菜を孫に食べさせようとする。しかし、両親は危険があることをいろんな報告で知っているから食べさせたくない。家族の中で、意見が分かれて気まずい空気が漂う。大変なストレスである。現在に至っても汚染地区の除染は遅々として進まない。家の周りや道路はある程度除染出来ても、庭や畑や森になると手の施しようがない。一軒の家から出る除染廃棄物も何十トンとなる。それをどこに保管するかも決まっていない。何もかも進展しない。その間にも放射能の被曝は静かに確実に進行している。

それを信じたじいちゃんやばあちゃんが、自分の畑で作った野菜を孫に食べさせようとする。しかし、両親は危険があることをいろんな報告で知っているから食べさせたくない。家族の中で、意見が分かれて気まずい空気が漂う。大変なストレスである。現在に至っても汚染地区の除染は遅々として進まない。家の周りや道路はある程度除染出来ても、庭や畑や森になると手の施しようがない。一軒の家から出る除染廃棄物も何十トンとなる。それをどこに保管するかも決まっていない。何もかも進展しない。その間にも放射能の被曝は静かに確実に進行している。

そんな福島の人たちの苦しみに少しでも共感し、自分たちの国の問題として捉え、行動につなげていきたいとおもう。

こんな福島の人たちの苦しみに少しでも共感し、自分たちの国の問題として捉え、行動につなげていきたいとおもう。

こんな福島の人たちの苦しみに少しでも共感し、自分たちの国の問題として捉え、行動につなげていきたいとおもう。

こんな福島の人たちの苦しみに少しでも共感し、自分たちの国の問題として捉え、行動につなげていきたいとおもう。

ゲスト紹介 (卓話者) 吉田 均 様 (よしだ小児科クリニック院長)

ビジターの紹介

皆出席顕彰委囑状

《 食 事 》

幹事報告・委員会報告



二木秀樹会員組織委員長: 会員増強を一人でもしたいと思ひます。

石丸幹夫会報委員長: ①二木委員長のお話は 各会員一人が最低1名増強ですね? がんばります。
②会員手帳原稿お願いいたします。



皆出席顕彰
5カ年 宮永満祐美会員



委囑状
RI2610 地区 2012 ~ 13 年度表彰審査委員会委員長・ロータリーを考える委員会委員
岩倉舟伊智会員

ニコニコBox

¥11,000- 本年度 ¥95,000- 残高 ¥4,171,879-

北山会長: 金沢も暑いがロンドンも暑い。日本の女子はすごい! 吉田先生、卓話ありがとうございます。井口会員: 吉田均先生、ようこそ。本日はよろしくお祈りします。金会員: 吉田先生、本日はよろしくお祈りします。皆さんもうすぐ秋風が吹きますのでしばしお待ちを。炭谷会員: 吉田先生、今夜の卓話よろしく、そして楽しみにしています。西村会員: 吉田先生ようこそ。卓話楽しみにしています。藤間会員: 吉田先生、お話楽しみにお待ちしております。川君元気でしょうか。村田会員: 吉田均先生、本日は「卓話」宜しくお祈りします。



講話の時間

「隠されてきたチェルノブイリの真実から何を学び行動すべきか」 吉田 均 様 (よしだ小児科クリニック院長)

卓話者プロフィール: 無高校時代は北山会長と席を並べて勉強し共に金沢大学に入学しました
1991年からよしだ小児科クリニックの院長を勤め2000年に薬のリスクに関する本「ちょっと待ってその薬を飲む前に」を出版し2011年より「原発の危険から子どもを守る北陸医師の会」の世話人となっています (村田祐一会員紹介)



講話: 原発の危険から子供を守る北陸医師の会が活動しています。大事なことは人間は原発を制御出来ないと言うことです。日本だけでなく世界のどこかでまた必ず事故がおこります。WHO が認めた唯一の傷害に晩発性放射線傷害、例としてウクライナの少女の甲状腺癌がありますが、これは何千人もの子供達の悲劇的運命があります。病気、奇形、3才以下の脳腫瘍、白血病も確実に増加しています。北ウクライナでは1990年から確実に内分泌疾患、精神疾患、神経系疾患、循環器疾患、消化器疾患、皮膚疾患、筋骨各系疾患がふえています。少年が心臓発作を起こすようになりました。心臓の筋肉の放射性セシウムが増え、筋繊維断裂や溶解、線維間の浮腫がみられます。子供の脳卒中も見られ、健康な人が激減しました。そして子供達は無気力になりました。



本当の事を言わないか無視する調査団

原発による被害は明らかです。苦しんでいる今、「さよなら原発」の10万人集会をしても、分らずやには、原発の危機を小さく見せようとする専門家と称する人々がいます。「放射線の影響はニコニコ笑っている人には来ません。くよくよしている人に来ます。」とか、チェルノブイでは「放射能恐怖症」という病気をでっちあげました。そしてこれだけ甲状腺癌が増えているのに、IAEA(重松逸三代表)は「甲状腺癌の多発はなく、因果関係不明、分からない事多し、調査しすぎが原因、」としています。

WHO 開催のチェルノブイリ原発事故による人体への影響に関する国際シンポジウムではIAEA代表のアベルゴンザレスは200シーベルトを浴びたのは30人で、子どもの甲状腺がんは2,000人が国際的に認められた被害であるとのべています。また UNSCREAR 代表のN.ゲントナーは被爆が体内か体外か そんな考えは認めません。体内がより深刻などと語って、人々をだましても彼らのためにはなりません。と言っています。またICRPメンバーのサウギンは外部被曝に比べて内部被曝はとるに足りないとして述べています。

中嶋浩 WHO 事務局長は「私達の発表が何故公表されなかったのですか?」「会議がIAEAと協同で組織されたからで、そこが問題だと述べています。」

低線量被曝は安全といいますがやはりちょっとだけ危険かもとも言割れています。ギリシャの乳児白血病は2.6倍に増えました。

原発平常運転でもドイツでは近い処ほど幼児白血病が多いデータがあります。施設の周辺には気体、液体、固体の放射性物質が出て来て気体は空に向かって、液体は海に出て行きます。ネッカーウエストハイム第2原発では1998年から2007までの空中への放射性炭素14は増加しています。

胎児には特に危険性が大きく、胎児の血液幹細胞の危険度は新生児の1000倍とも言われ、妊娠初期は後期の5倍、胎児の内部被曝の危険度は外部被曝に比べて4.5倍にも達します。乳幼児は大人の5.4倍の危険度があります。本当は原発の存在は事故がなくともあまりにも危険なのです。

点 鐘

お知らせ

長谷川塑人陶芸塾で陶芸をしてみませんか?

初めての方は勿論、経験された方にも、優しく丁寧に討議の技術や技法をおたえします。楽しい充実した時間をお持ち下さい。初級、中級、上級コースがあります。電話 FAX076-231-3345

陶芸家 長谷川塑人先生 (もとガバナー補佐・金沢北RC会員) 希望者は木場紀子会員まで

青少年交換のお礼 南光州RC 朱氏から

こんにちは チュミスン日本訪問体験記をおくります。蒸し暑い天候 健康には用心されて気を付けて下さい。有り難うございます。チュギョンワン 拝




재44대 회장 김희봉 재44대 총무 정영호

2012-13년도 이사 및 임원

회장	김희봉	부회장	조영식
총재	정영호	클럽관리위원장	김희봉
회차	유수	회원위원장	조영식
부회	조영식	봉사프로젝트위원장	박만수
총재	정영호	로타리재단위원장	김희봉
클럽관리위원장	김희봉	신세대봉사위원장	조영식
회원위원장	조영식	자매클럽위원장	김희봉
봉사프로젝트위원장	김희봉	공공이미지위원장	조영식
로타리재단위원장	김희봉	주보위원장	김희봉
신세대봉사위원장	조영식	사직전회	김희봉
자매클럽위원장	김희봉	이	김희봉
공공이미지위원장	조영식	이	김희봉
주보위원장	김희봉		
사직전회	김희봉		
이	김희봉		
이	김희봉		

회장 김 히ボン
 次期会長 チョウ ヨンシク
 副会長 パク マンス
 副会長 チュ ギョンワン
 総務 チョン ヨンホ
 財務 イ サンウク
 클럽管理委員長
 ユン 만쥬ン
 会員委員長 ソン 쥬ンヨ
 ン
 奉仕プロジェクト委員長
 김 쏬스
 로타리財団委員長
 칸 만쏬크
 新世代奉仕委員長 이ム 쥬나ム
 姉妹提携委員長 이 쿨뎀쥬ン
 公共イメージ委員長
 펍크 옹길
 週報委員長 쥬 쥬안길
 송그리더 김 피ョン욘
 査察 (SAA) 김 쥬안쏬크
 直前会長 쥬 쿡쑤ン
 理事 오 쥬ン뎀
 理事 김 쥬안스





로타리 장시자 12-13 RI 회장 RI 3710지구 총재
 Paul P. Harris 사쿠지 다나카 정림 오한교

평화
 상주지 다나카
 2012-13년 회장

2012-13년도
 RI 회장 테마

3710 地区ガバナー
 오 쥬안쥬요

会員数 58名

《米山今月のピックアップ記事》

2. 来春採用の奨学生募集がスタート

2013年4月採用の新奨学生募集が始まりました。

地区米山奨学委員会からの報告により決定した指定校は全国で500校で、前年度の475校から増加(※1)。指定校からの被推薦者数は1,490人(前年度1,601人)で、この中から新規採用奨学生約500人が選ばれます。前年度に比べて被推薦者数が減少している理由は、全体採用数が800人から700人に縮減されるためです。大学・大学院生以外を対象とする地区奨励奨学金を導入した地区は、昨年より1地区減少して5地区10校、うち2校が初指定となりました。

指定校から留学生を推薦してもらうにあたり、全国共通の応募資格に加え、地区独自の要望を提示したのは34地区中25地区でした。その多くが、国籍が偏らないよう配慮を望み、日本語運用能力に長けた留学生を求めるもので、昨年とほぼ同様の傾向でした。募集要項・申込書は8月14日付で指定校宛てに発送予定です。(※1) 指定校数について。複数地区にキャンパスが分かれ、それぞれの地区で指定校になった場合は、複数でカウントしていません。

その他の記事は、ぜひPDF版をご覧ください。

→ http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/pdf/highlight149_pdf.pdf

★ お知らせ ★

1. 第4回中国学友会総会のご案内

2009年に正式発足した中国米山学友会の第4回総会が、10月27日(土)に上海で開催されます。同学友会は、北京・天津を中心とする華北分会と上海分会で構成され、各分会が毎年交互に総会の運営を担当しています。

今年の総会を主催する張豪会長から、「日本のロータリアンの皆さまにぜひお越しいただきたいです」とのメッセージをいただいています。関心のある方はぜひご参加ください。

申込締切日：9月30日※ただし宿泊手配を学友に依頼する場合、一部9月10日締切あり
詳細は、下記サイトをご覧ください。

---> http://www.rotary-yoneyama.or.jp/report/active/detail_508.html

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

事務局長 坂下博康 編集担当 野津・峯

Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281問い合わせメール : highlight@rotary-yoneyama.or.jp

米山記念奨学会ホームページ : <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

日本に旅行して 韓国交換青少年



リュ ヒョンジ

私はこの高校 1 年の夏休みを利用して日本を訪れた。初めての外国旅行のため記憶に残る日本だが、日本に対して良い点を多く学びさらに記憶に残るだろう。日本といえば行く前は過去韓国をいじめた国、竹島を自分たちの国だと言い張る国として良い印象はなかったが、行ってみると私が見た日本は本当に学ぶべき点が多い国だと今更ながら気づきました。私が訪れた地域は金沢という所で過去 450 年間、第 2 次世界大戦のような戦争はもちろん、大規模地震の被害もなかったため、京都に続き日本の伝統文化、昔の姿をよく残している所として有名だ。そのため古い家は壊れることなく、とてもよく保存されていた。また日本は自動車が道路脇に駐車されていなかった。そして人が多い場所もゴミが一つも捨てられておらずきれいでした。だから人々が日本に行ってくると、なぜきれいなのかと言うのか分かりました。またとても礼儀正しい。来客があると年上の方も 90 度でお辞儀をし、相手を尊重する。私は来客があると顔をさっと下げるが多かったが、これからは私もお辞儀を丁寧にしようと思う。私が泊まったところほ／小児科の先生のお宅だった。本当に暑い日にも楽に過ごせるようにしてくださり、寝る時も涼しく本当に良かった。最後にキムキスさんにも心から感謝します。毎日車で運転しながら日本について多く教えて下さった。もし機会があれば日本を再び訪れもっと日本を学んでみたい。本当に記憶に残る楽しい旅行だった。



ヨンチョン中学校 1 年

キム ジュヨン

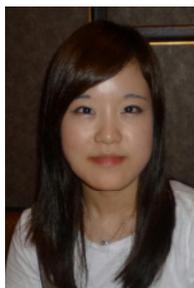
1 年ぶりにリナ、リコに会った。ナツキとアミとも仲良くなった。多様な日本料理と直接作って見た金泊工芸箸、ガラス工芸、着物を着ての花火大会、温泉、金沢の文化遺跡地など…。何 1 つ忘れられない思い出だ。最後の日、寂しい気持ちで一杯だったが、またもう一度会えるということで少し慰められました。「百万石ロータリークラブ」多くの思い出を作ってくれた事を、忘れず胸の奥に大切にしまっておこう。ありがとうございました。



テバン小学校 5 年

キム ソヨン

韓国よりもきれいだという点だ。ロータリーを通して日本に行き、たくさんの友達に会い、日本文化を経験して変わった料理もたくさん食べました。リナ、リコちゃんに再会し、新しい友達もできた。最後の日、リナ、リコちゃんがグラスデコで「ありがとう」と「大好き」という文字をハングルで書いてプレゼントしてくれて、靴もプレゼントしてくれました。別れたくない私に、来年韓国に行くという約束をしてくれたのでうれしい気持ちで韓国に帰ることができました。来年が楽しみです。



青少年交換学生日本訪問体験後記

チェ ミソン

7 月 25 日 南光州ロータリークラブを適して青少年交換学生として選抜され、6 日間日本の金沢市に滞在し、ホームステイをしました。日本に対する漠然とした先入観ばかり持っていた私は日本に行き、はたしてうまく適応できるか心配でした。空港の入国手続きが終わって日本に降り立ったその瞬間、私たちはびっくりしました。空港まで出迎えに来てくださると聞いてはいたけれど、宮永国際奉仕委員長様、キムギス前会長様等大勢の方々が私たちを待っていたとは知りませんでした。私たちを見てとても喜び歓迎してくださいました。

お互いに楽しく挨拶を交わし団体写真を撮った後、自動車に乗って移動し日本式ラーメンを食べました。韓国で食べていたラーメンとは全く異なる味のラーメンでしたが、日本の独特な味がしてよかったです。昼食を食べた後、尹奉吉義士の殉国記念碑を訪問しました。殉国記念碑の周囲が無窮花の木の生垣で造られていたのが印象的でした。

ホテルのビュッフェで夕食を食べた後、私とヒョンジはホームステイをする加畑先生宅に行きました。自宅と病院が一緒になっている所でした。私たちが泊まる部屋は日本の伝統的スタイルの畳の部屋でした。日本特有の畳の匂いが心を落ち着かせてくれるようでした。私たちを迎えて下さったお母様と昨年ホームステイに来た大学生のお姉さんと少し話をしました。高校生の時しばらく習った日本語と若干の英語を交ぜて使い、たどたどしく意思疎通をしました。お互い言葉が通じなくてもどかしくもありましたが、電子辞書を引きながら一緒に対話をした時間がとても楽しかったです。

日本での初日が過ぎ、翌日は日本のショッピングモールとガラス工芸工房に行きました。ガラス工芸工房では、自分でガラスを溶かして美しいガラス玉を作り鐘に吊るして風鈴を作りました。昼食には寿司を食べました。韓国のチョバブよりもご飯の上にのせられたさしみが厚くて大きかったです。さしみはもともとあまり好きではないけれど、日本まで行って寿司を食べてみないわけにはいかないので。2日目の夜は百万石ロータリークラブの例会に出席しました。ロータリアンの方々が前に出られて歓迎の挨拶やたくさんのお話をしてくださいましたが、よく聞き取ることができなくて残念でした。日本式弁当はほんとうにおいしかったです。

3日目は日本の伝統的な街並を見て回り金箔工芸の箸作りを体験しました。伝統的街並みには日本の伝統的建築物がありました。韓国の仁寺洞の北村の韓屋街と似ていると感じました。そこではかわいらしい日本のおみやげを売っていました。ちょっと入って行くと金箔を利用した製品を売っている店があり、すべての商品に金箔をほどこしたり、金箔を入れて販売されているのです。金箔を入れた酒、金箔の入ったキャンディ、金箔をほどこした扇子等…。あまりにも珍しく美しいものが多かったけれど、見て回るのが精一杯で何も買わなかったことがほんとうに心残りでした。再び金沢へ行くことになったらぜひ東茶屋街に行きたいものです。

夜にはゆかたを着て花火を見物しました。屋上から花火を見物した後散策をしたくて川辺に下りて行くと私たちのように浴衣を着て花火を見に出てきた人たちがほんとうに多かったです。色とりどりの華やかな伝統衣装を着た人たちを見物しながら、花火も見物しました。韓国では伝統服をあまり着ないので滅多に見られない風景でした。

日本での最後の日は大きなマーケットに行ってショッピングをしました。そこで日本の伝統的な菓子と友達へのお土産にする物を買いました。日本のかわいらしさがよく現れている伝統菓子は食べるのが惜しいくらいにあまりにも美しいです。夜には送別会をしました。4種類の肉を鉄板で焼いて食べたのですが、後にはビビンバも出てきました。多分韓国食堂だったのではないかと思います。送別会をしながらロータリアンの方たちと挨拶を交わし、キムギス前会長様のお宅で最後の夜を過ごしました。会長様のお宅には珍鳥犬が3匹いるのですが韓国から連れてきたということでした。珍鳥犬とも遊び奥様が作った木目込み人形も見せてもらいました。

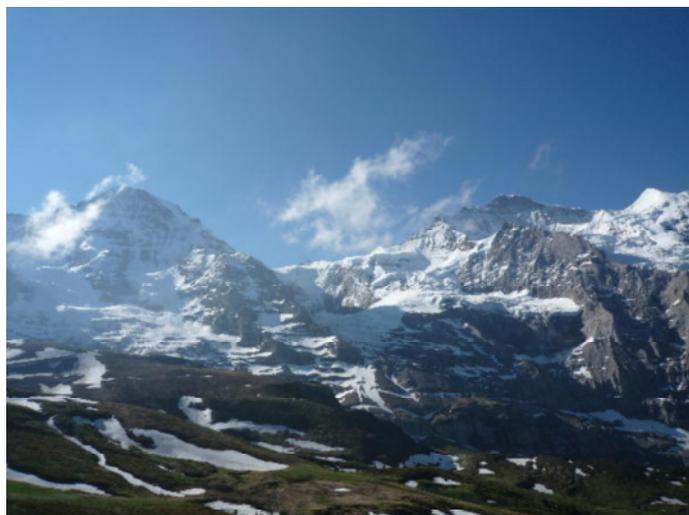
翌日韓国行の飛行機に乗るために空港に行きました。私たちが初めて日本に到着した時に歓迎して下さったように、今度も多くの方々が来られて私たちに配慮してくださいました。皆様がどんなに親切でいらっしゃったか…来年私の家にも日本の学生がホームステイに来たなら私が日本で彼らから受けた親切をお返ししなければと思いました。送りに来られた方たちは私たちが出国審査をしに入っていく所まで一緒にいてくださいました。最後まで手を振ってくださっていた姿がいまも目に浮かびます。この度の旅行によって私がもっていた日本に対する先入観のようなものはなくすことができました。次の機会にまた行くことができるといいのですが。

(翻訳 金沂秀会員)



カレル湖 (イタリア)

毎日暑い日が続いております。
涼しい景色を！



アイガー、ユングフラウ (スイス)